

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 19 No.12 2017年6月30日

製品・サービス動向-国内

■ロジクール：120° 広画角、4K 画像、5倍 HD ズームに対応したオールインワンビデオ会議システム「MeetUp」を発表

(記者発表会取材：6月6日)



Logicoool MeetUp (ロジクール)

株式会社ロジクール (<https://www.logicoool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区)は、カメラやマイク、スピーカが搭載された、オールインワンタイプのビデオ会議システム「Logicoool MeetUp(ミートアップ)」および拡張マイク「EXPANSION MIC FOR MEETUP」を発表。7月中旬より法人向け製品として正規販売代理店を通して販売開始する。今回の発表に合わせて記者発表会が開催された(日米同時発表)。

ロジクールは、Webカメラやマウス、キーボードのNo.1メーカーとしてよく知られているが、昨今、ビデオ会議など法人向けのソリューションにも注力している。

ロジクールは、現在、Webカメラ(価格は1万円程度)から、20人程度の中・大会議室向け(価格は15万円程度)まで、法人向けの製品を多数提供している。



小会議室向け製品ラインナップ (ロジクール)

その中で、今回発表された MeetUp は、「BCC950」や「CC2000eSV」といった小規模会議向け製品ラインナップにおけるハイエンドとして追加される製品となる。価格は110,250円(税抜き)、拡張マイクが33,250円(税抜き)となっている。



MeetUpの視野角は120° (ロジクール)

本体のカメラについては、視点固定型パンチルトズーム機能を搭載。120°の視野角に対応しているため4~6人程度の会議室では全員をカバーし表示することが可能だ。加えて、パン/ティルト(電動式)により総視野角は175°までさらに広がる。一般的なWebカメラ(78°)や高性能Webカメラ(90°)よりも申し分なく幅広い視野角となっている。

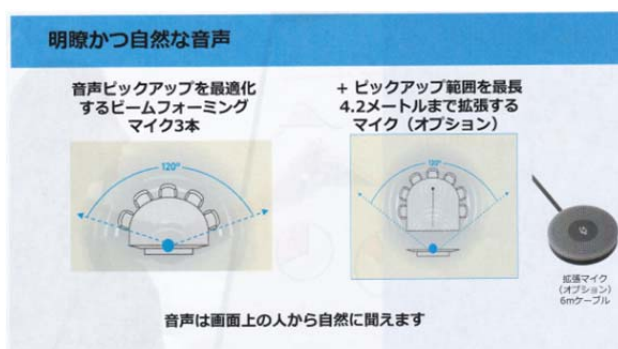
解像度については、4K(Ultra HD)、1080p(Full HD)、

720p(HD)といった複数の解像度をサポートしており、使っているアプリケーションやモニターの画質に合わせて最適な映像を映し出すようになっている。

また5倍HDズームと組み合わせることにより、会議室内のホワイトボードや手元などの細かい資料などにフォーカスし相手にくっきりと伝えることができる。3か所のプリセット機能もある。

なお、プリセットを含む MeetUp の各種操作は、同梱の「RF リモコン」でコントロールできるようになっている。また、今夏にはソフトリモコンとして Android および iOS アプリも登場予定となっている。近くにあるカンファレンスカムが自動的に検出したり、ハードウェアリモコン機能を再現したりできるようになっている。

一方、音声回りでは、MeetUp は明瞭かつ自然な音声品質を実現している。本体にはエコーやノイズを抑えるビームフォーミングマイクを3本搭載し、音声ピックアップを最適化しているため、雑音が入りにくく、高質な音声で聞き取れるようになっている。さらに、オプションの拡張マイクを使うことでピックアップ範囲を最長4.2mまで拡張することも可能となっている。



搭載マイクの特長 (ロジクール)

設置も簡単だ。MeetUp は、TV モニター、パソコンの上、壁面などどんな場所でも設置できる。全てが一体化されたコンパクトデザインのため、スペースを取ることもなく、またコード類も最小限のため煩雑に

なってしまうことはない。また、プラグ&プレイの USB 接続に対応しているため、Windows PC、Mac、Google Chromebook に簡単に接続することができる。ほとんど全てのミーティング用ソフトウェアやアプリに対応している。



左から Logitech International ビデオ・コラボレーションビジネス部門ディレクター サイモン・ダドリー氏、ロジクール 法人営業本部 本部長 妻鹿 行雄 氏

ロジクールによると、向こう5年間で、クラウドビデオの浸透により市場は大きく成長することが期待されており、1~20人程度の会議室向けで今後、国内だけでも400億円程度が見込まれているそうだ。

「当社の国内でのビデオ会議システム関連の売上は毎年70%と高い成長率を記録している。とりわけハドルーム(中・小規模会議室)が好調だ。」(ロジクール法人営業本部本部長 妻鹿行雄氏)

「MeetUp は、ロジクールとして今後の法人向け会議ソリューションの中では中核的な製品という位置づけになる。」(Logitech International コラボレーションビジネス部門 ディレクター サイモン ダドリー氏)

ダドリー氏は製品戦略担当ディレクターとしてこの製品開発に注力した人物の一人。とくに思い入れがあるようだ。

その思い入れがあるにも理由がある。彼はこのビデオ会議業界に入って25年経つ。最初はビデオ会議システムのリセラー会社に入社し、その後、主要なビデオ

オ会議ハードウェアメーカを何社か渡り歩いてきた人物だ。その一社では、エバンジェリストとして数多くの講演などの活動も行っており、YouTube にたくさん投稿されている。また、その後、Excession Events を創業しビデオ会議関連のコンサルティングや業界著名人などをインタビューした Podcast 配信などもおこなった。読者の中でご存知の方もいらっしゃると思う。

「25 年間、来る年も来る年も、来年こそはビデオ会議の飛躍の年と言われ続けてきたが、そして私は期待してきた。しかし、ここにきてようやくそれが本当に実現する 때가来たと思っている。その鍵になるのが今回発表したハドル向けの MeetUp だ。世界で 5,000 万の会議室にはまだビデオ会議が設置されていないと言われているが、そのうちの何百万かでも広げることができればと期待している。」（サイモン・ダドリー氏）日本の今後のビデオ会議市場の成長に大きな期待感を見せる。

■Blue Jeans 社とウェスト UC ジャパン：ビデオ会議システム「Huddle Rooms」の日本国内での販売開始を発表



Huddle Rooms(ウェスト UC ジャパン)

(取材&プレスリリース：6月14日)

Blue Jeans Network 社(<https://www.bluejeans.com/>) (米国・カリフォルニア州) は、ウェスト UC ジャパン株式会社 (<https://www.westuc.com/ja-jp>) (東京都港区) と提携し、ビデオ会議システム「Huddle Rooms (ハドルルームズ)」の日本国内での提供を開始する。

Blue Jeans 社は、ビデオ会議の相互運用に特長を持つクラウド型ビデオ・コミュニケーションサービスを提供する世界的なプロバイダー。デスクトップ PC やスマートフォン/タブレットなどのモバイルを含めた最大 100 拠点での多地点ビデオ会議が行えるサービスを展開している。

ウェスト UC ジャパンは West Corporation 社の日本法人。ユニファイドコミュニケーションを含めた、通信とネットワークインフラサービスの世界的なプロバイダー。代表取締役は、ユニファイドコミュニケーション業界で長年の経験と実績のある田野豊氏。

Huddle Rooms は、業界標準のハードウェアと Blue Jeans が独自開発したソフトウェアを組み合わせたビデオ会議システムとなる。

Blue Jeans のクラウドサービスを使い、視覚的操作で簡単に高品質なビデオ会議が行えるようになっている。ハードウェアには、Blue Jeans のソフトウェアを搭載した Intel NUC と iPad mini をベースにマイクスピーカー(既存もしくはオプション)などと組み合わせる形が基本構成となっている。

小会議室から大会議室まで幅広い環境に対応しており、モニターやプロジェクターがある部屋への設置・導入がプラグ&プレイで簡単。「IT フレンドリーで、導入のしやすさが売りだ。」(ウェスト UC ジャパン)

予約された会議が自動でタッチパネル上に表示されるなどの機能を搭載しており、ワンタッチでビデオ会議を開始することができる。加えて、資料共有は WiFi 経由で行えるため、ケーブル接続のわずらわしさが無いとしている。

West 社は数年前から、グローバルとアジア太平洋地域において BlueJeans と強力なパートナーシップを構築してきた。同社にとって、エンタープライズにエンドツーエンドのビデオコラボレーションソリューションを提供するというビジネスを加速させると期待している。日本国内においても、ウェスト UC ジャパンを

通して Blue Jeans サービスが広がっており、商社を始めとした大手企業などで導入が進んでいる。

なお、ウエスト UC ジャパンでは、Huddle Rooms 発表に合わせ、Blue Jeans 社の、5,000 拠点まで対応したオンデマンド配信サービス「Blue Jeans Prime Time」も発表している。今回の発表により、Blue Jeans サービスラインナップは、クラウドサービス「onVideo」と「onSocial」（フェイスブックと連動）のほか、PrimeTime、Huddle Rooms となる。

出展レポート-国内

■メディアプラス：Interop Tokyo 2017 で日本マイクロソフトと「Surface Hub/Skype for Business」に関する共同セミナーと展示を実施、H323 テレビ会議と組み合わせた新しい提案

(取材：6月21日)

株式会社メディアプラス (<http://www.mediaplus.co.jp/>) (東京都千代田区) は、Interop Tokyo 2017(6月7日～9日、幕張メッセ)に出展。「Skype for Business 統合で実現するビデオ会議改革」をテーマに、日本マイクロソフト株式会社と共同でセミナーを開催、また、関連の製品、ソリューションを展示した。



マイクロソフト Surface Hub

左：84 インチ 右：55 インチ (メディアプラス)

共同セミナーでは、前半は日本マイクロソフトからまた後半はメディアプラスから「Surface Hub」の概要やテレビ会議システムと比較した上での優位性や相互接続などについて紹介。



セミナーの様子 (メディアプラス)



メディアプラスブース (メディアプラス)

Skype for Business によるテレビ会議は行えるものの、専用端末の専用のカメラとは違い、映像品質においては Surface Hub は劣るが、タッチパネルの大型ディスプレイ機能とともに、“無限のキャンパス”として簡単な操作性で使えるホワイトボードそしてさまざまなアプリケーションの共有、さらにはメールや OneNote、Exchange、クラウドストレージなどとの連携も可能なため、会議体の幅が広がり、生産性を確実に上げることが可能という。加えて、既存の H.323 テレビ会議システムとの相互接続機能を提供することで Surface Hub/Skype for Business 環境へ徐々に移行することも可能としている。

「Office365」を導入し Skype for Business を活用す

る企業が増えてきている。しかし、社内にある既存の H.323 テレビ会議システムの多くはそれ単体では Skype for Business との相互が出来ない。それぞれの実装した通信プロトコルが異なるためだ。

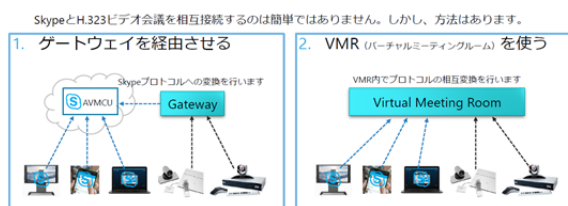
そこで、メディアプラスは、Skype for Business と既存のテレビ会議システムを統合するための各種ソリューションを用意している。

その中で、今回の展示でメディアプラスが力強く紹介していたのが、Skype for Business と H.323 テレビ会議システムとを相互に接続する方法だ。

ひとつは、ゲートウェイを経由させる方法。これは、H.323 テレビ会議システムからの通信をゲートウェイで Skype プロトコルへ変換することで、Skype for Business と H.323 テレビ会議システムを相互につなぐという方法。もうひとつは、VMR (バーチャルミーティングルーム) を使う方法だ。これはひとつの仮想会議室を用意し、Skype for Business や H.323 テレビ会議システムがそこに接続しお互い会議が行える環境を提供する方法になる。

いずれの方法も、オンプレミス、プライベートクラウド (Azure にも対応)、パブリッククラウドサービスで提供可能だ。メディアプラスでは、企業ごとの運用方法や目的に適した方法を提案するとしている。

SkypeとH.323ビデオ会議を接続する方法



いずれの方法も当社では **オンプレミス、プライベートクラウド (Azureにも対応)、サービス**の形で提供可能です
企業ごとの運用方法や目的に適した方法をご提案いたします

相互接続の方法 (メディアプラス)

また、メディアプラスでは、最近発売した、StarLeaf社の Skype for Business 専用ビデオ会議ハードウェア「GTm 5140 Huddle」も展示。こちらは、Skype for Business/Lync、Office365 環境のために StarLeaf 社が

開発した専用端末。Skype アカウントを投入するだけで、セルフサービスでセットアップが完了。すぐに Skype for Business 会議が行える。



GTm 5140 Huddle (メディアプラス)

メディアプラスでは、Skype for Business と H.323 テレビ会議を統合した環境を効率よく運用するためのソフトウェア「VMR オペレータ」も提供している。

一方、Skype for Business やテレビ会議システムは今や高品質な映像と資料共有が可能になったが、今日もなおユーザを悩ませている問題は音声だという。

「相手の声がきこえにくい」「ノイズが多く音声が見えにくい」「手持ちのマイクを使いたいが使えない」「エコーやハウリングが発生している」などこれでは相手はよく見えても会議が成立しない。

メディアプラスでは、展示コーナーにおいて、音に対するひとつの解決方法として、ゼンハイザー製の Web 会議用 ポータブルスピーカーフォン「TeamConnect Wireless」を展示紹介。マイクとスピーカーを内蔵した円筒型の音響デバイス (サテライト) を会議室のテーブルに配置し、ワイヤレス (1.9GHz DECT、暗号化) でマスター (専用充電端末) に接続、USB ケーブルでパソコンなどに接続する。サテライト数によって最大 24 人までカバーできる。セッティングは 1 分以内。素早く Web 会議が開始できるとしている。同社では、その他、クリアワンやレボラプスなどの音響ソリューションも提供している。

メディアプラスは、今年 3 月に Surface Hub 認定リセラー契約を日本マイクロソフトと締結して初の共同

セミナーおよび出展となる。

「Surface Hub/Skype for Business とメディアプラスのポートフォリオを組み合わせ、これまでにない新しい提案も今後行っていきたいと考えている。」（メディアプラス）

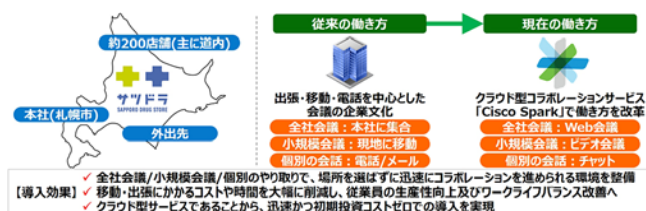
導入・利用動向-国内

■ネットワンシステムズ：サッポロドラッグストア、働き方改革に向けて「Cisco Spark」を採用、北海道を中心とした約200店舗と本社間の会議を効率化

(6月30日)

ネットワンシステムズ株式会社 (<http://www.netone.co.jp/>) (東京都千代田区) は、株式会社サッポロドラッグストア (<https://satudora.jp/>) (北海道札幌市) が、シスコシステムズのクラウド型コラボレーションサービス「Cisco Spark」を採用したことを発表。

サッポロドラッグストアは、北海道を中心としてドラッグストア182店、調剤薬局10店を運営している。従来は、隔月に1回の全社会議として、本社がある札幌市の貸会議室などに北海道内の店舗責任者が集合しており、その移動と出張などに多くの時間とコストがかかっていた。



サッポロドラッグストアCisco Spark 導入

(ネットワンシステムズ)

Cisco Spark の採用によって札幌ドラッグストアは、全社会議を Web 会議で開催。店舗責任者は移動することなく各店舗や外出先での参加が可能になった。

また、小規模の会議ではビデオ会議を用い、個別のやりとりはチャットを用いることで、場所を選ばずに迅速にコラボレーションを進められる環境を整備した。従業員にはスマートフォンを新たに貸与しており、店舗内外や出先などで状況に応じて PC とスマートフォンを使い分けて Cisco Spark を活用している。

ネットワンシステムズは提案に際して、ICT ツールや人事制度など自社で実践している働き方改革のノウハウを提供するとともに、Cisco Spark 用のトライアルキットを提供して現地でデモを行った。Cisco Spark はクラウド型サービスであるため、トライアルキット使用環境の現地設定はわずか5分で完了し、採用決定後も再設定することなく試用環境がそのまま本番環境になっている。

サッポロドラッグストアは、移動・出張にかかるコストや時間を大幅に削減し、従業員の生産性向上およびワークライフバランスの改善が進んでいるという。またクラウドサービスであることから、迅速かつ初期投資コストゼロでの導入を実現しているとしている。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■中古テレビ会議.com

テレビ会議システムをレンタルで!

Polycom/Sony/Cisco/Lifesize 対応

<http://chuko-tv-kaigi.com/?mode=f24?cnar06302>

■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ) --

最大 8 人まで対応する、120 度の視野と 4K 光学を実現する ConferenceCam

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

セミナー・展示会情報

<国内>

■バイキューブセミナー情報（6月から7月）

「失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー」、「従来比 1/3 のコストで導入できる” V-CUBE Box 体験セミナー」、「バイキューブロボティクス ドローン業務活用セミナー」 など

会場（各地）、日時など詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/all>

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時:7月26日(金) 10:00～17:00

会場：リコージャパン株式会社 ViCreA 東京ショールーム
(東京都中央区)

主催：株式会社リコー

(オフィスサービス事業本部 商品戦略センター)

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/17K188.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信し皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003 年-2013 年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014 年-2017 年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年6月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp